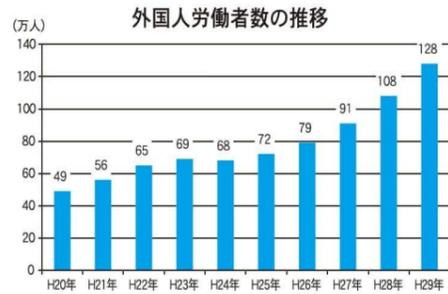


Save! Foreign Workers! 48班

1.背景

外国人労働者の雇用課題の深刻化に着目

- 近年外国人労働者数が増加
- 国内の外国人労働者の労働環境の悪化



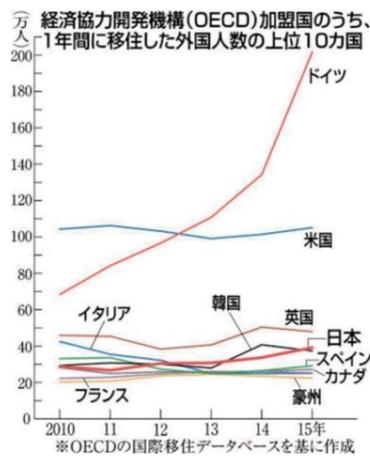
2.目的

より良い労働環境のための解決策を提案

3.先行研究

ドイツは外国人受け入れ数が主要先進国トップ

労働市場への統合の点でドイツは成功している



4-i.調査～ドイツの政策～

<ドイツの外国人労働者雇用制度>

◇対難民 → 積極的受け入れ

◇対EU市民 → 自国民と平等な雇用

◇対非EU市民

条件つきで

→ 平等な賃金、雇用期間の保証

家族帯同の認可

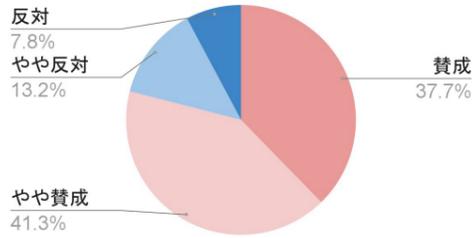
→ 日本では在留期間の延長に伴う試験が必要だが、不必要

⇒ドイツはドイツ人と対等の雇用政策を行っている

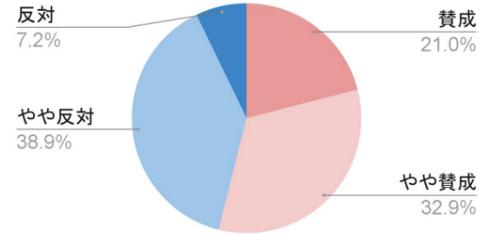
⇒「平等」という意識の存在

4-ii.調査～わたしたちの意識～

受け入れに賛成か



身近に住むことについて



労働力としては見ているも平等な住民としては捉えていない
約70%の人が待遇の状況について「知らない」と回答

5.考察～改善策～

「知らない」ことが平等に見る意識を欠く



知らない状態を変える事が必要

「日本人が知ることが大事」

京都国際センター

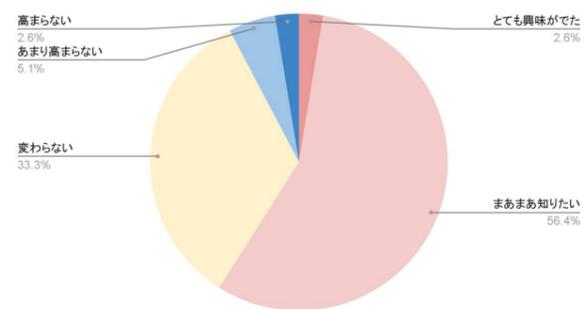
6.調査～意識の変化～

変えませんか？ あなたの意識が外国人に対する意識

未来を変える

探究48班 アンケート

ポスターを見て興味や意識は変わったか



7.結果

約60%以上の生徒が、『外国人労働者の現状に興味を持った』と回答した
わたしたちが外国人労働者について知ることから始めよう

6.参考文献

ドイツ・スウェーデンの外国人政策から何を学ぶか

<http://www3.keizaireport.com/report.php/RID/383969/>

日本商工会議所 Assist Biz <https://www.jcci.or.jp/>

ドイツ・スウェーデンの外国人材政策

<https://www.jri.co.jp/MediaLibrary/file/report/jrireview/pdf/11438.pdf>